

化学物質等安全データシート (MSDS)

作成日: 平成18年10月10日
 改訂日: 平成22年4月2日
 改訂版: 4

株式会社 ミスミ ボックス見積センター
 TEL: 03-5805-7168
 FAX: 03-5805-7170
 Eメール: box@misumi.co.jp

2 組成、成分情報

製品基材

当該製品の一般的名称 : 粘着加工製品

構成部位	化学物質名等	含有量 ^{注1} (%)	官報公示整理番号		
			化審法	安衛法	CAS No.
表面基材	ポリエチレンテレフタレート (PET)	31.0	(7)-1022		25038-59-9
	アルミニウム(蒸着層)		対象外		7429-90-5
	アンチモン及びその他の化合物 (三酸化アンチモン)		(1)-543		1309-64-4
	塩化ビニル-酢酸ビニル共重合体		(6)-76		9003-22-9
	二酸化チタン		(1)-558		13463-67-7
	ニトロセルロース		(8)-176		9004-70-0
	硫酸バリウム		(1)-89		7727-43-7
粘着剤	アクリルエステル共重合体	9.2	-		-
離型紙	セルロース	59.8	-		9004-34-6
	アルミニウム水溶性塩 (硫酸アルミニウム)		(1)-25		10043-01-3
	シリコン		-		-
	銅及びその化合物		-		-
	ポリエチレン		(6)-1		9002-88-4

注1) ここでの含有量は、製品全体に対する各構成部位の比率になります。

法令 * で通知することが義務づけられた化学物質

- * 化学物質管理促進法 (第1種、第2種指定化学物質) : 第1種指定化学物質: 三酸化アンチモン、200PPM以下
- * 労働安全衛生法 (表示、通知対象物質) : 通知物質: 三酸化アンチモン、200PPM以下
- 通知物質: 二酸化チタン、4%
- 通知物質: 銅及びその化合物、14PPM
- 通知物質: 硫酸アルミニウム、0.88%以下
- * 毒物・劇物取締法 (毒物、劇物) : 該当なし

製品使用インキ (スクリーン印刷用 U-PETシリーズ)

単一性・混合物の区別 : 混合物
 国連分類: クラス3.3 国連番号: 1210

成分及び含有量

化学物質名等	含有量%	CAS NO.
シクロヘキサノン	10~20%	108-94-1
オルトジクロロベンゼン	3~5%	95-50-1
ソルベントナフサ	1~3%	64742-95-6
ケトン系溶剤	5~15%	非公開
エステル系溶剤	10~25%	非公開
グリコール系溶剤	1~10%	非公開
飽和高分子鎖状コポリエステル	15~30%	非公開
顔料及び助材	5~40%	非公開

法令 * で通知することが義務づけられた化学物質

- * 化学物質管理促進法 (第1種指定化学物質): 第1種指定化学物質: ジクロロベンゼン 3~5% 政令番号 第181号
- 1,2,4-トリメチルベンゼン* 1~2% 政令番号 第296号
- 1,3,5-トリメチルベンゼン* < 0.5% 政令番号 第297号
- * 労働安全衛生法 (表示、通知対象物質) : シクロヘキサノン 10~20% 108-94-1
- オルトジクロロベンゼン 3~5% 95-50-1
- ソルベントナフサ 1~3% 64742-95-6
- 二酸化ケイ素 1~4% 7631-86-9/112926-00-8
- 酸化チタン (450, 460) < 40% 非公開
- 銅及びその化合物 (190, 210, 220, 250, 580, 587) 3~10% 非公開
- カーボンブラック (480, 490, 510, 517) 0~15% 非公開
- トリメチルベンゼン (ソルベントナフサに含有) < 2% 25551-13-7

* 毒物・劇物取締法 (毒物、劇物) : 該当なし

3 危険有害性の要約	
国連分類基準の名称	: 該当しない
国連番号	: 該当しない
特定の危険有害性	: 特になし
4 応急措置	
吸入した場合	: 一般的に吸入の可能性なし
皮膚に付着した場合	: 水と石鹸で洗浄する。皮膚にかぶれ等の症状がある場合には、医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 速やかに大量の流水で洗い、眼科医の診察を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに吐き出させ、清浄な水で口の中を洗浄し、医師の診断を受ける。
最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報	: 特になし
応急処置をする者の保護	: 特になし
医師に対する特別注意事項	: 特になし
5 火災時の措置	
消火剤	: 水、泡消火器、ABC消火器、粉末消火器、二酸化炭素消火器
消火を行う者への保護	: 必要に応じ、有機ガス用防毒マスク 送気マスク、ゴーグルを用いる。
6 漏出時の措置	
個人に対する注意事項	: 漏出の可能性がないため、特になし
環境に対する注意事項	: 漏出の可能性がないため、特になし
清掃方法	: 漏出の可能性がないため、特になし
7 取扱及び保管上の注意	
取扱	
技術的対策	: 特別な注意事項はなし
注意事項	: 特別な注意事項はなし
安全取扱注意事項	: 断裁時に紙粉等が発生する時は部分的な換気を実施する。
保管	
技術的対策	: 特別な注意事項はなし
混触禁止物質	: 特別な注意事項はなし
保管条件	
適切な保管条件	: 常温、常温の室内で保管する。
避けるべき保管条件	: 直射日光、高温、高温での保管を避ける。火気厳禁
包装材料	: 特になし
8 暴露防止及び保護措置	
技術的対策	: 断裁時に紙粉等が発生する時は部分的な換気を実施する。
保護具	
呼吸器の保護具	: 必要なら埃用のマスク等
手の保護具	: 特に必要なし
目の保護具	: 特に必要なし
皮膚及び身体の保護具	: 特に必要なし
9 物理的及び化学的性質	
物理的状態	物理状態が変化する特定の温度/温度範囲
外観 (形状)	: ロール状又は、平版 沸点 : 非該当
色	: - 融点 : 非該当
臭い	: 特になし 分解温度 : データなし
PH	: データなし 引火点 : 非該当
	爆発特性 : 非該当
	密度 : データなし
	溶媒に対する溶解度 : 水に不溶
	その他 : 可燃性
10 安定性及び反応性	
安定性	: 通常的环境下で安定である
特定条件下で生じる危険な反応	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし
11 有害性情報	
急性毒性	: データなし
局部効果	: データなし
12 環境影響情報	
移動性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
生体毒性	: データなし

1.3 廃棄上の注意
残余廃棄物

: 地方条例に基づいて、産業廃棄物として処理する。
: 産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、外部処理を行う。
: 焼却処理をする場合は、大気汚染防止法、廃棄物処理法等の諸法令に適合した設備・方法を使用して処理を行う。

汚染容器及び包装

: 包装材を廃棄する場合においても、地方条例に基づいて処理する。

1.4 輸送上の注意
国連番号
国内法
陸上

: 転倒・落下・は損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
: 該当しない

: 取扱い及び保管の注意事項の一般注意事項に従う。
: 転倒・落下・は損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

: 消防法、労働安全衛生法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定める運送方法に従う。

海上

: 取扱い及び保管の注意事項の一般注意事項に従う。
: 転倒・落下・は損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

: 船舶安全法の定めるところに従う。

航空

: 取扱い及び保管の注意事項の一般注意事項に従う。
: 転倒・落下・は損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

: 航空法の定めるところに従う。

1.5 適用法令

労働安全衛生法

第14条 作業主任者の選任

: 非該当

第57条 名称等を表示すべき物質

: 該当

第65条 作業環境測定

: 非該当

第66条 健康診断

: 非該当

有機溶剤中毒予防規則

第X種有機溶剤

: 非該当

消防法：指定可燃物

: 該当 (合成樹脂類、3,000kg以上)

化学物質管理促進法

: 非該当

化学物質の審査及び製造の規制に関する法律

第X種特定化学物質

: 非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

: 該当

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

海洋汚染物質

: 非該当

水質汚濁防止法 (有害物質)

: 非該当

有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律

: 非該当

船舶安全法

: 非該当

航空法

: 非該当

輸出貿易管理令

: 別表第1の1項～15項までは
非該当 (対象外)

キャッチオール規制

: 別表第1の16項の關稅定率法第39類
「プラスチック及びその製品」に該当

1.6 その他の情報

① 危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱には十分ご注意ください。

② 記載内容は、現時点で入手できる情報に基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質は保証値ではありません。

③ 注意事項は通常の取扱を対象としており、特殊な取扱の場合は用途・用法に適した安全対策を実施してください。